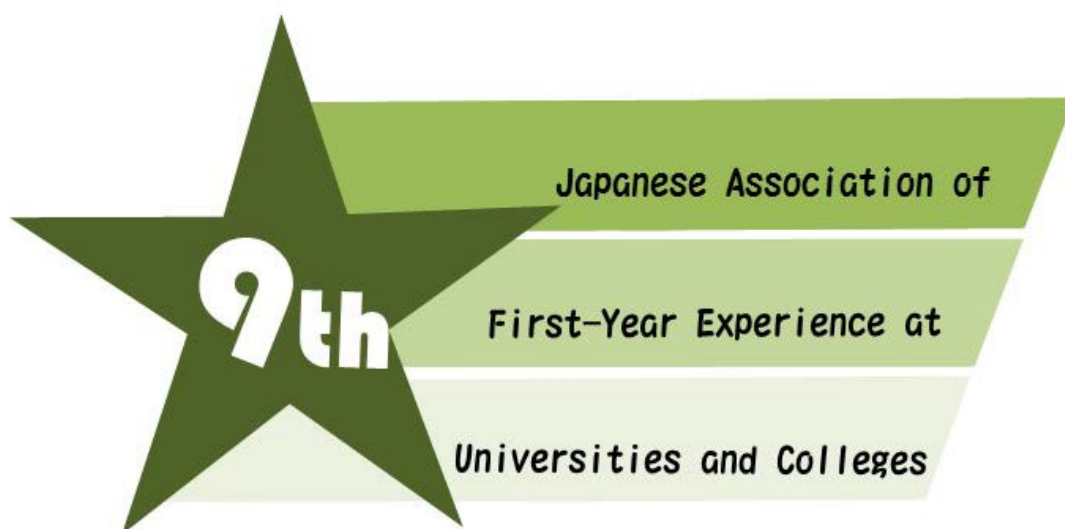


初年次教育学会第 9 回大会

大会プログラム

—初年次教育とエンロールメントマネジメント—



主催：初年次教育学会

共催：四国大学・四国大学短期大学部

平成 28 年 9 月 10 日(土)・11 日(日)



四国大学
SHIKOKU UNIVERSITY

初年次教育学会第9回大会 日程

第1日 9月10日(土)

09:00～	受付開始	A館ロビー
10:00～12:00	企画セッションⅠ ・ワークショップ	A館4階
12:00～13:00	昼食	学生食堂 他
13:00～13:30	総会	共通講義棟 (R101)
13:55～15:20	特別講演 【テーマ】 初年次教育を活用した学生確保の在り方 13:30～ 開場 13:45～13:55 開会式 13:55～15:20 特別講演	共通講義棟 (R101、102)
15:30～17:40	15:30～17:30 課題研究シンポジウム 17:30～17:40 総括	共通講義棟 (R101、102)
18:00～20:15	懇親会 18:00～18:15 スペシャルライブ 18:20～18:30 阿波踊り (阿波踊りクラブ) 18:30～20:15 情報交換会	芸術館 学生食堂

※賛助会員出展 N館1階(玄関大ホール)

第2日 9月11日(日)

09:00～	受付開始	A館ロビー
10:00～12:00	・自由研究発表Ⅰ	A館3階
12:00～13:00	昼食	学生食堂 他
13:00～15:00	企画セッションⅡ ・ワークショップ ・ラウンドテーブル	A館4階
15:10～17:00	・自由研究発表Ⅱ	A館3階
17:05～17:15	閉会式	A館3階

※賛助会員出展 N館1階(玄関大ホール)

※編集委員会 A館4階(A401:9月11日 11時～13時)

ご挨拶

初年次教育学会第9回大会を、2016年9月10日（土）・11日（日）の両日、四国大学（徳島県徳島市）にて開催するにあたり、歓迎のご挨拶を申し上げます。

教育改革のなかで「初年次教育」を重要な位置づけにしております本学におきまして、本大会を開催できますことは、非常に光栄かつ名誉なことと存じます。

さて、本大会のテーマは『初年次教育とエンロールメントマネジメント』といたしました。そして「エンロールメントマネジメント」を、本大会では「学生が大学に入学し、在籍し、卒業するまでを意識した学生の流れ」と位置づけました。初年次教育（プログラム）は、まさに同マネジメントを支える営みといえます。本大会を通して、「エンロールメントマネジメント」に係る議論が深まることを期待しております。

例年通りの企画シンポジウムやワークショップ、ラウンドテーブル以外にも特別講演を予定しております。前回同様に充実した大会となるように、実行委員会、スタッフ一同（学内協力者、ボランティア学生）、大会運営に努めます。

四国というとお遍路が有名ですが、それに関わる「お接待（おせったい）」という慣習も注目されています。それは遍路の人々に宿や食物を提供し助力するという文化なのですが、接待する側にも遍路と同じ功德があるといわれます。一番札所があり、お接待の文化が根づく徳島での大会が、皆様にとって有意義なものとなりましたらこの上ない喜びです。

初年次教育学会 第9回大会実行委員会
委員長 谷川 裕稔（四国大学）

大会のご案内

1. 参加費（いずれも1人当たり）	事前申込	当日申込
（ア）大会参加費（要旨集代含む）	会員：4,000 円	5,000 円
	非会員： —	5,000 円
	学 生：2,000 円※	3,000 円
（イ）懇親会費	会員／非会員：5,000 円	5,000 円

（ウ）事前申込みのお願い

8月18日（金）までに大会ホームページからお振込みください。それ以降は当日受付でお支払ください。

※受付の混雑を避けるために会員の方は事前申込みにご協力をお願いします。非会員の方は当日受付とします。

※学生の方は受付にて学生証をご提示ください。

（エ）注意

機関会員5名までが事前申込み可能な人数です。6名以上でのご参加を希望される場合は、予め5名分の事前参加申し込みをした上で、5名分の参加費をお振込みください。残り参加者分につきましては、当日申込みとなりますので、現金にてお支払くださいますことを何卒ご了承ください。

- | | |
|-------------|---|
| 2. 名札 | 会場内では、常にお付けください。
不要になった名札ケースはお持ち帰りください。 |
| 3. 喫煙 | 全館禁煙です。指定場所のみで喫煙が可能です。
（会場案内図参照）。 |
| 4. 休憩所・クローク | 会場内に休憩室（A館4階）、クロークをA館1Fに設けます。
当日受付にてご確認ください。 |
| 5. コピーサービス | コンビニエンスストア（セブンイレブン：A館1階）にコピー機が設置されています。
※白黒印刷（1枚10円）、フルカラーコピー（1枚50円～） |
| 6. 駐車場 | 多目的広場をご利用ください（案内図参照）。 |
| 7. 学会年会費 | 大会会場では納入できません。 |
| 8. 昼食について | 学食が営業しておりますので、ご利用ください（定食500円前後、うどん・カレー300円前後）。売り切れの際はご容赦ください。なお、大学近隣は飲食店が多くないためできるだけ学食をご利用ください（案内図参照）。また学内にはコンビニエンスストア（セブンイレブン）もございますのでご利用ください。 |
| 9. 服装について | 大会期間中は残暑が予想されます。大会参加の皆様には軽装をお薦め致します。なお、本学では、大会期間中も「クールビズ」を実施しておりますので、ご理解をお願い致します。 |
| 10. 会場について | 教室等は変更になることがありますのでご注意ください。 |

初年次教育学会 第9回大会 特別講演

初年次教育を活用した学生確保のあり方

【日 時】 2016年9月10日（土） 13:55～15:20 （13:30～ 開場）

【会 場】 四国大学 共通講義棟 R101・102 教室（収容定員 522 名）

【講 師】 山内 太地氏 （大学研究家・教育ジャーナリスト）

【プロフィール】

島根県立大学 客員教授，一般社団法人 大学イノベーション研究所 所長。大学・高校のコンサルティングと，生徒・保護者・高校教員向け進路講演，本の執筆，TV・ラジオ出演など多数おこなっている。47 都道府県 14 か国・3 地域の 884 大学 1174 キャンパスを訪問。主著には『こんな大学で学びたい 日本全国 773 校探訪記』（単著：新潮社），『下流大学に入ろう！』（単著：光文社ペーパーバックス），『危ない大学』（共著：洋泉社・新書 y），『アホ大学のバカ学生 グローバル人材と就活迷子のあいだ』（共著：光文社新書）などがある。

【趣 旨】

大会テーマ「初年次教育とエンロールメントマネジメント」にちなんで、今大会の特別講演には大学研究家の山内太地氏をお招きし、「初年次教育を活用した学生確保のあり方」についてお話しいただきます。高等学校の事情にも詳しい同氏の知見にふれることを通して、2018 年から始まる高校生減を乗り切るためのヒントを得ることができれば、と期待する次第です。

◇司 会：奥村 英樹（四国大学）

企画セッション（A館4階）

企画セッションⅠ（9月10日（土）10：00～12：00）

ワークショップ			
担当者（WS）	所属	題目	教室
安永 悟 Gehrtz 三隅 友子	久留米大学 徳島大学	演劇的知を教育活動に取り入れる－ パフォーマンスティブラーニング－	A館 A409
成田 秀夫 山本 啓一 得丸 智子	河合塾 北陸大学 開智国際大学	学生の経験を言語化し、学びを深める ライティング指導 －TAE（Thinking At the Edge）をベ－ ースにした「経験をことば化する方 法」－	A館 A410
田中 岳 立石 慎治	東京工業大学 国立教育政策 研究所	2030年の初年次教育から見える今 －未来を思うことで今を考える－	A館 A411

企画セッションⅡ（9月11日（日）13：00～15：00）

ワークショップ			
担当者（WS）	所属	題目	教室
長山 恵子	金沢工業大学	初年次学生に対するプレゼンテーシ ョン指導法	A館 A409
川島 啓二 池田 史子 久保田祐歌	九州大学 山口県立大学 徳島大学	「学力の三要素」を総括的に育むアク ティブ・ラーニング	A館 A410
藤田 哲也 中川 華林	法政大学 法政大学大学院	モデル授業公開検討会（2）：ノート の取り方	A館 A411

ラウンドテーブル			
企画者（RT）	所属	題目	教室
藤本 元啓 加利川友子 大嶋 康裕	崇城大学 広島修道大学 崇城大学	初年次教育における職員の役割ついで －職員主体と教職協働 第4報－	A館 A404
谷川 裕稔 山本 繁 上岡 義典	四国大学短期大 学部 NEWVERY 徳島大学大学院	初年次教育は「学生の定着」に寄与で きるか？－エンロールメントマネジ メントを意識したシステム創り－	A館 A405

ワークショップ（WS）とラウンドテーブル（RT） 及び課題研究について

1. ワークショップ（120 分）

初年次教育に関連する重要なテーマを初年次教育学会理事会が設定し、それに合った担当者を理事会から依頼して成立するセッションです。個人ワークやグループ・ディスカッション、グループ別プレゼンテーションなどの活動から構成されるこのセッションへの参加によって、参加者の初年次教育に対する知識や実践的スキルを向上させることを目的としています。言い換えれば、各テーマに対する初学者を主たる対象としていますので、自らの「知識・スキルの向上」を期待したいテーマのワークショップを選ぶことをお勧めします。

2. ラウンドテーブル（120 分）

ワークショップとは異なり、会員が企画するセッションです。申込者が設定したテーマについてまず自ら話題を提供した後、参加者全員が円卓（ラウンドテーブル）を囲み、報告者とオーディエンスといった区別なく、テーマに沿って自由に意見を交換する場であり、このセッションを通じて参加者間の相互作用によって有意義な結論を導き出そうとするものです。

3. 課題研究（120 分）

課題研究は、研究担当理事が中心となり、初年次教育に関わる重点課題を設定し、話題提供にもとづく議論をすすめるものです。

課題研究シンポジウム

初年次教育の評価：プログラムとしての評価、 学生をどう評価するのか

課題研究担当理事
将来構想担当理事

濱名 篤
山田礼子

企画趣旨：(予定)

課題研究委員会と将来構想委員会は、今大会から 3 年間のスパンで中期計画を立て、段階的に課題研究シンポジウムを開催する。研究の大テーマは「初年次教育の評価とは何か」である。

1 年目の今大会では、初年次教育の類型をいくつか分類し、「学生個人の達成」と「教育プログラム」という視点からそれぞれの類型についての評価をおこなう。そして、今大会終了後にディプロマシーポリシー (DP)、カリキュラムポリシー (CP)、アドミッションポリシー (AP) における初年次教育の位置づけに関する会員調査を実施する。なお、類型の分類であるが①大学適応型、②学習スキル重視型、③研究基礎重視型とする。

2 年目 (2017 年第 10 回大会：中部大学) は、DP・CP・AP との関係から、初年次教育がプログラムとしてどのようにそれぞれに位置づけられるのか、また成果の測り方はどのような形が望ましいのか、といったような視点から議論する予定である。そして 3 年目は 2 年目を参考に検討する予定である。

登壇者：

- 1) 「学生データを活用した大学適応型初年次教育の実践
～関西国際大学の事例を通して～ (仮)」

田中 亜裕子 (関西国際大学)

- 2) 「学習スキル型初年次教育プログラムの評価の測り方はどのような
形が望ましいのか～初年次教育学会員による過去 3 ヶ年の研究成果
の分析を通して～(仮)」

谷川 裕稔 (四国大学短期大学部)

- 3) 「研究大学における初年次教育の評価 (仮)」

川島 啓二 (九州大学)

指定討論者：岩井 洋 (帝塚山大学)

司会：井下 千以子 (桜美林大学)

日時：9 月 10 日 (土) 15:30～17:40

場所：共通講義棟 1 階 101・102 教室

自由研究発表Ⅰ（A館3階）

9月11日（日）10:00～12:00

協同学習・グループワークⅠ		会場：A館 3階 301教室	
登壇者	所属	発表題目	時間
大和 恵美子	目白大学	初年次における価値観グループワークの実践	10:00～ 10:20
垣花 渉	石川県立看護大学	課題基盤型学習を通して自らの健康を自らで管理する力を育てる	10:25～ 10:45
岡村 裕美	神戸学院大学	共通教育科目「文章読解」授業の試み—大学生向けの読解教材作成に向けて—	10:50～ 11:10
総括討論			11:15～

協同学習・グループワークⅡ		会場：A館 3階 302教室	
登壇者	所属	発表題目	時間
福井 英次郎	慶應義塾大学	初年次教育の視点から大教室での講義案を考える—ロールプレイングゲームで学ぶ国際政治学—	10:00～ 10:20
松本 悠	東京大学	東京大学「初年次ゼミナール理科」その実践例	10:25～ 10:45
須藤 文	久留米大学	LTDを重層的に活用した授業「論理的思考」の展開—エッセイ作成を意図した関連づけの活性化—	10:50～ 11:10
総括討論			11:15～

学士課程教育Ⅰ		会場：A館 3階 303教室	
登壇者	所属	発表題目	時間
塚原 修一	関西国際大学	職業専門大学と初年次教育	10:00～ 10:20
深野 政之	大阪府立大学	大阪府立大学における初年次ゼミナールの実践	10:25～ 10:45
巨海 玄道	久留米工業大学	久留米工業大学における新しい初年次教育システムの構築—基幹教育センターの設置まで—	10:50～ 11:10
総括討論			11:15～

学習意欲・動機Ⅰ			会場 : A 館 3 階 304 教室
登壇者	所属	発表題目	時間
吉田 博	徳島大学	学習効果を高める振り返りを促進する授業設計—初年次教育プログラム「SIH 道場〜アクティブ・ラーニング入門〜」の事例から—	10 : 00～ 10 : 20
仲道 雅輝	愛媛大学	パリッシュの学習者要因に着目した授業改善ヒント集の開発—初年次教育での学ぶ姿勢の育成—	10 : 25～ 10 : 45
藤野 博行	九州国際大学	初年次ゼミを支える SA（スチューデント・アシスタント）育成とその教育力—学生の「文化」として定着する SA 育成システムと成長サイクル—	10 : 50～ 11 : 10
総括討論			11 : 15～

学習成果・効果測定			会場 : A 館 3 階 305 教室
登壇者	所属	発表題目	時間
森 淳秀	大阪歯科大学	クリッカーを使用した学修の質と量に関する調査—講義ノートの利用と講義外学修時間—	10 : 00～ 10 : 20
初見 康行	いわき明星大学	初年次教育の効果に関する一考察—初年次教育が在学意思・主体的学修態度に与える影響について—	10 : 25～ 10 : 45
加藤 みずき	法政大学大学院	大学授業における発表のルーブリックに対する学生の受け止め方に関する研究—協同作業認識尺度とルーブリックに対する評価との関連—	10 : 50～ 11 : 10
中川 華林	法政大学大学院	初年次における成績評価に対する不安の経時的変化—評価形式の違いに着目して—	11 : 15～ 11 : 35
総括討論			11 : 40～

授業デザイン		会場 : A 館 3 階 306 教室	
登壇者	所属	発表題目	時間
小林 祐也	関西大学大学院	クリティカルシンキングの育成におけるトピックの重要性	10 : 00～ 10 : 20
黒田 秀雄	東京富士大学	「イマドキの学生にスイッチを入れるには？」	10 : 25～ 10 : 45
杉橋 朝子	昭和女子大学	大人数・大教室授業の実践を通して—授業に「サーバントリーダーシップ」の概念と「協同学習」の効果を取り入れて—	10 : 50～ 11 : 10
松尾 智晶	京都産業大学	初年次教育科目のコンテンツ設計とその効果測定—京都産業大学における実践を例として—	11 : 15～ 11 : 35
総括討論			11 : 40～

中途退学防止・学生の定着 I・特別学修支援(発達障がい学生支援他)		会場 : A 館 3 階 307 教室	
登壇者	所属	発表題目	時間
佐藤 枝里	中部大学	学生相談室による初年次クラス担当教員への多層的支援—FD、正課授業、コンサルテーションを通して—	10 : 00～ 10 : 20
橋本 智也	京都光華女子大学	組織的な早期の中途退学防止策—累積欠席コマ数の週次レポートで個別状況と全体傾向を共有する—	10 : 25～ 10 : 45
蔵本 信比古	北海道情報大学	自己管理能力による新入学生の修学適応プロフィールの予測	10 : 50～ 11 : 10
上岡 義典	徳島大学	発達障がい学生支援における—考察—キャリア相談と学生相談を通して—	11 : 15～ 11 : 35
総括討論			11 : 40～

自由研究発表Ⅱ

9月11日（日）15：10～17：00

ピアサポート・教職協働			会場：A館 3階 301教室
登壇者	所属	発表題目	時間
木原 宏子	創価大学	ライティング科目再履修クラスにおけるピア・サポートの有効性—SAの活用とグループ学習を通して—	15：10～ 15：30
岡田 晃枝	東京大学	初年次教育の質向上に向けたティーチングアシスタントの協働—東京大学「初年次ゼミナール文科」の実践例—	15：35～ 15：55
御厨 まり子	明星大学	明星大学全学初年次教育科目「自立と体験1」実践報告—新規に担当する教員を対象としたアンケート結果と教職学協同での授業運営—	16：00～ 16：20
総括討論			16：25～

スタディスキルズ・文章表現			会場：A館 3階 302教室
登壇者	所属	発表題目	時間
廣瀬 清英	岩手医科大学	教養科目におけるビブリオバトルの活用—ゼミナール形式での実施と選択科目における紹介本の分野縛り—	15：10～ 15：30
西口 啓太	神戸大学大学院	ライティング・カンファレンスによる「書くこと」の個別化指導—米国大学におけるプロセス・アプローチに着目して—	15：35～ 15：55
皆川 雅章	札幌学院大学	初年次における計算力育成の取組み—学習ノートを用いた思考・計算過程の可視化—	16：00～ 16：20
総括討論			16：25～

学士課程教育Ⅱ		会場 : A 館 3 階 303 教室	
登壇者	所属	発表題目	時間
河田 智成	広島工業大学	初年次基礎教育科目における学びの定着度向上に向けた取り組み—HIT 教育 2016 におけるフォローアッププログラムについて—	15 : 10～ 15 : 30
村上 学	東京理科大学	クォーター制度における初年次教育—基礎力の平準化と協働学習の習慣化を促進する 3.5 プラン—	15 : 35～ 15 : 55
得丸 智子	開智国際大学	初年次教育におけるシティズンシップ教育の可能性と限界—教育的公共圏「さくぶん.org」の試み—	16 : 00～ 16 : 20
総括討論			16 : 25～

高大接続		会場 : A 館 3 階 304 教室	
登壇者	所属	発表題目	時間
秋山 英治	愛媛大学	高大接続でおこなう日本語リテラシー教育—e ラーニングを活用した日本語リテラシー教育の有効性—	15 : 10～ 15 : 30
吉村 充功	日本文理大学	高大接続システム入試改革と学修評価—北陸大学と日本文理大学での入試改革を例に—	15 : 35～ 15 : 55
黒田 友貴	株式会社フェローシステム	学生によるオープンキャンパス企画の効果に関する研究—社会人基礎力の自己評価に着目して—	16 : 00～ 16 : 20
総括討論			16 : 25～

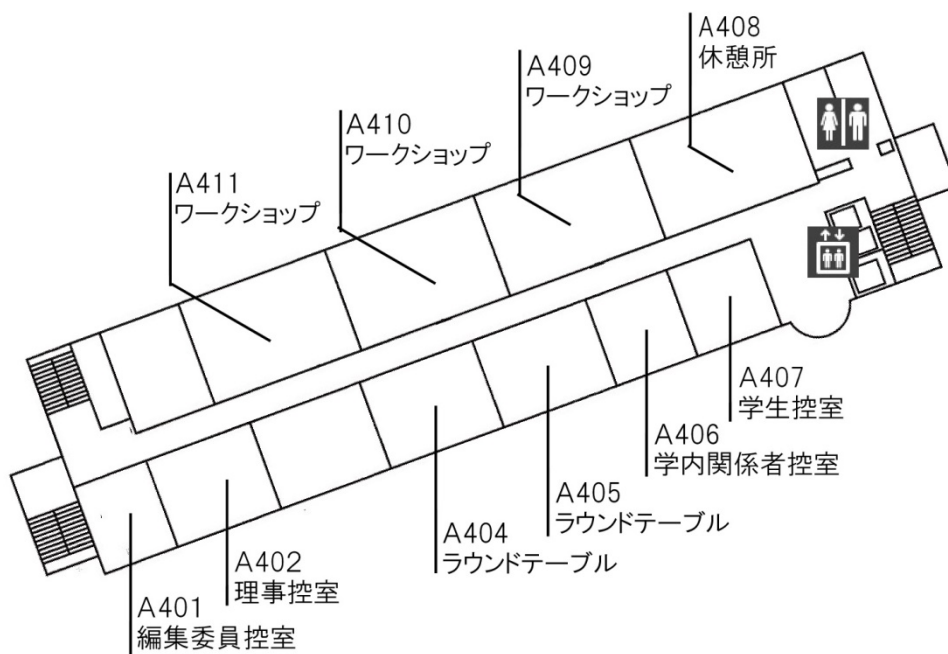
キャリア教育・ジェネリックスキル		会場 : A 館 3 階 305 教室	
登壇者	所属	発表題目	時間
寺島 哲平	常磐大学	就職支援のためのゲーミフィケーションの実践報告—キャリアセンター職員の業務を疑似体験するカードゲームの開発—	15 : 10～ 15 : 30
石川 勝彦	山梨学院大学	キャリア教育におけるリフレクションの機能—産業界 GP 九州・沖縄ブロック学修評価グループでの取組から—	15 : 35～ 15 : 55
二上 武生	工学院大学	大学初年次のジェネリックスキルに影響する高校までの経験—アクティブラーニングでジェネリックスキルは育つのか—	16 : 00～ 16 : 20
総括討論			16 : 25～

協同学習・グループワークⅢ		会場 : A 館 3 階 306 教室	
登壇者	所属	発表題目	時間
中 善則	花園大学	社会へ開いたアクティブ・ラーニングの実践研究—「対話」・「ふりかえり」の充実がもたらす個々人の学びの成果分析—	15 : 10～ 15 : 30
坂東 実子	敬愛大学・東京外国語大学	授業実践報告「賛否に分かれるニュースを考える協同学習」—積極的な参加を促進し、多様な観点からの深い考察をさせるために—	15 : 35～ 15 : 55
増井 沙奈江	久留米大学	協同認識（仮）尺度の開発—協同作業認識尺度を手がかりに—	16 : 00～ 16 : 20
阿部 美恵子	関西学院大学	新聞記事を用いた口頭発表練習への LTD 話し合い学習法導入の試み—初年次学部留学生の日本語授業での実践—	16 : 25～ 16 : 45
総括討論			16 : 50～

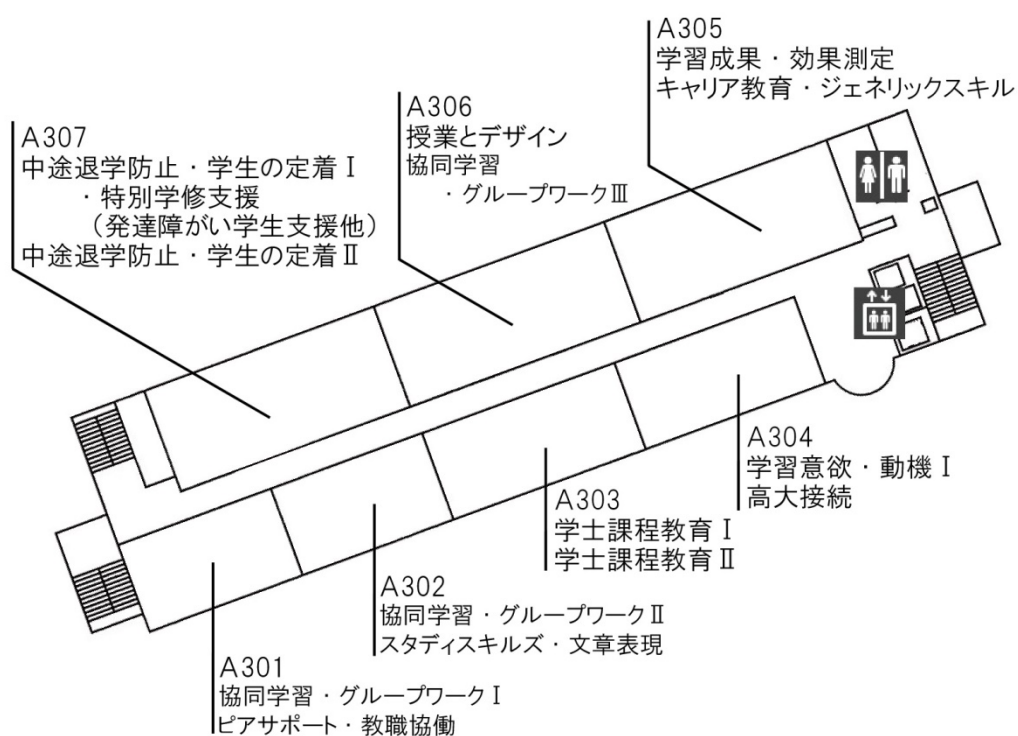
中途退学防止・学生の定着Ⅱ・学習意欲・動機Ⅱ		会場 : A 館 3 階 307 教室	
登壇者	所属	発表題目	時間
名取 洋典	いわき明星大学	いわき明星大学教養学部における初年次教育の実践と考察—1 年目の取り組み内容について—	15 : 10～ 15 : 30
山本 繁	NPO 法人 NEWVERY	中途退学防止戦略と実践—湘南工科大学の事例から—	15 : 35～ 15 : 55
森下 稔	東京海洋大学	成績不振学生を対象とする面談指導の効果と課題—修学アドバイザー制度による 10 年間の経験から—	16 : 00～ 16 : 20
絹川 直良	文京学院大学	初年次教育とドロップアウトの防止—電子学修ポートフォリオ他の活用—	16 : 25～ 16 : 45
総括討論			16 : 50～

建物案内図（企画セッション・自由研究発表会場）

A 館 4 階 平面図



A 館 3 階 平面図



会場へのアクセス

1. 会場 四国大学・四国大学短期大学部

〒771-1192 徳島県徳島市応神町古川字戎子野 123-1

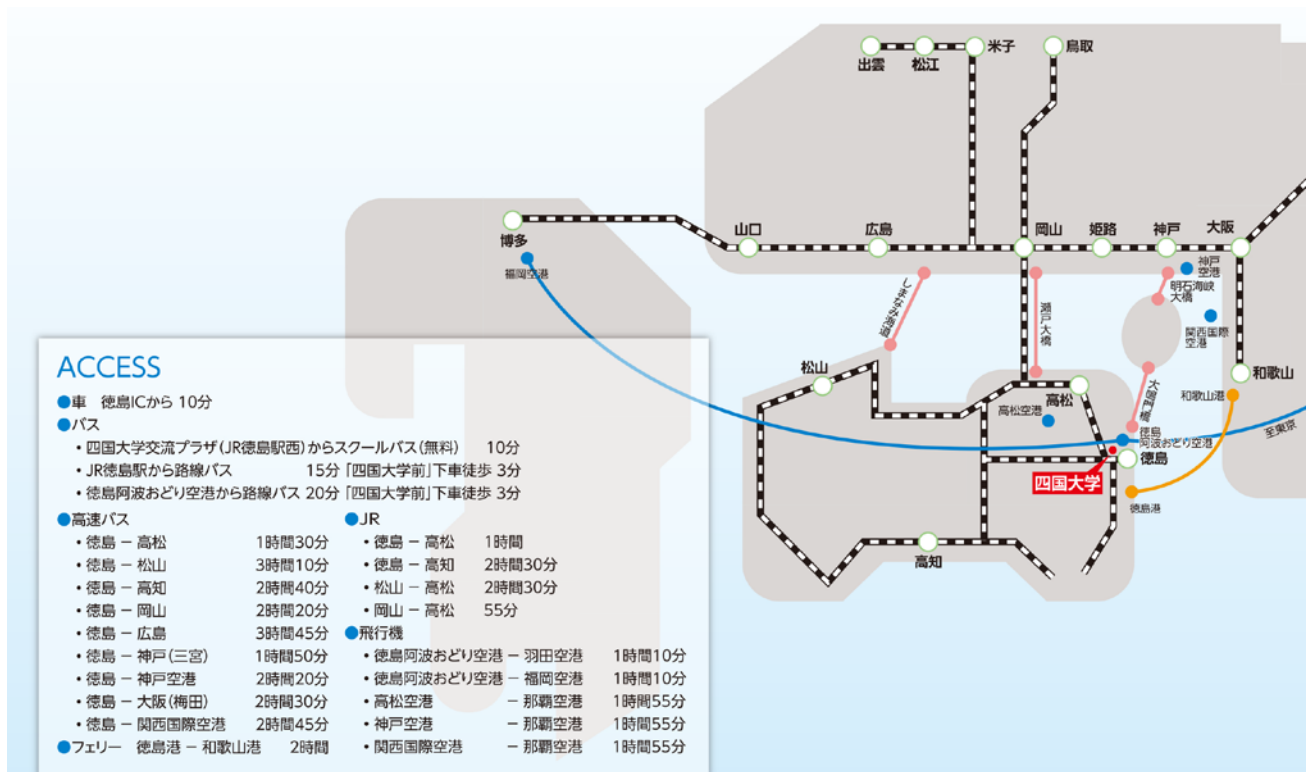
電話 088-665-1300 (代表) FAX088-665-8037 アドレス: fye-9mu@shikoku-u.ac.jp

四国大学ホームページ <http://www.shikoku-u.ac.jp/index.html>

第9回大会ホームページ <http://www.jafye.org/conf/conf2016/>

※プログラムの詳細等は、大会ホームページにて随時更新します。

2. アクセス方法



徳島阿波おどり空港から 四国大学	タクシー約 20 分 (約 2800 円) ※四国大学の「北門降車」をご指定ください
徳島阿波おどり空港から JR 徳島駅	空港リムジンバス約 25 分 (440 円)
JR 徳島駅から四国大学	路線バス約 15 分 (220 円) ※東門からお入りください。(キャンパス案内図参照) タクシー約 10 分 (約 1200 円) ※正門からお入りください。
高速道路から四国大学	関西方面からは「鳴門 IC」、高松方面からは「板野 IC」、高知・愛媛方面からは「藍住 IC」でお降りください

高松	JR 高松駅 → JR 徳島駅 (JR 特急：60 分)
高知	JR 高知駅 → JR 徳島駅 (JR 特急：140 分) (高速バス：160 分)
松山	JR 高松駅経由 → JR 徳島駅 (JR 特急：200 分)、JR 松山駅 → JR 徳島駅 (高速バス：190 分)
東京	羽田空港 → 徳島阿波おどり空港 (JAL・ANA：70 分)
大阪	JR 大阪駅 → JR 徳島駅 (高速バス：155 分)
神戸	三宮バスターミナル → JR 徳島駅 (高速バス：110 分)
和歌山	和歌山港 → 徳島港 (フェリー：120 分)
岡山	JR 高松駅経由 → JR 徳島駅 (JR 快速 56 分+JR 特急 60 分)
福岡	福岡空港 → 徳島阿波おどり空港 (JAC：90 分)
沖縄	那覇空港 → 高松空港 (ANA：105 分) 那覇空港 → 神戸空港 (ANA：115 分) 那覇空港 → 関西国際空港 (ANA：110 分)

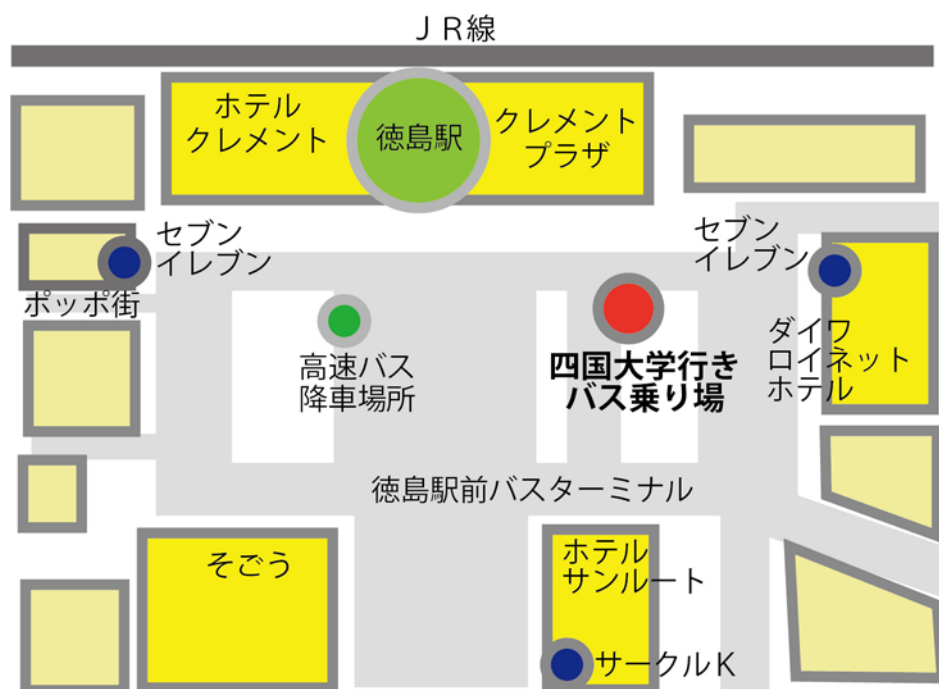


宿所の手配について

今回の大会では大会事務局による宿所の斡旋はありません。JR 徳島駅周辺のホテルがお勧めです。

※早めの宿所確保をお勧めします。

徳島駅前 四国大学行きバス乗車場所



※約 10～30 分おきに発車しています。

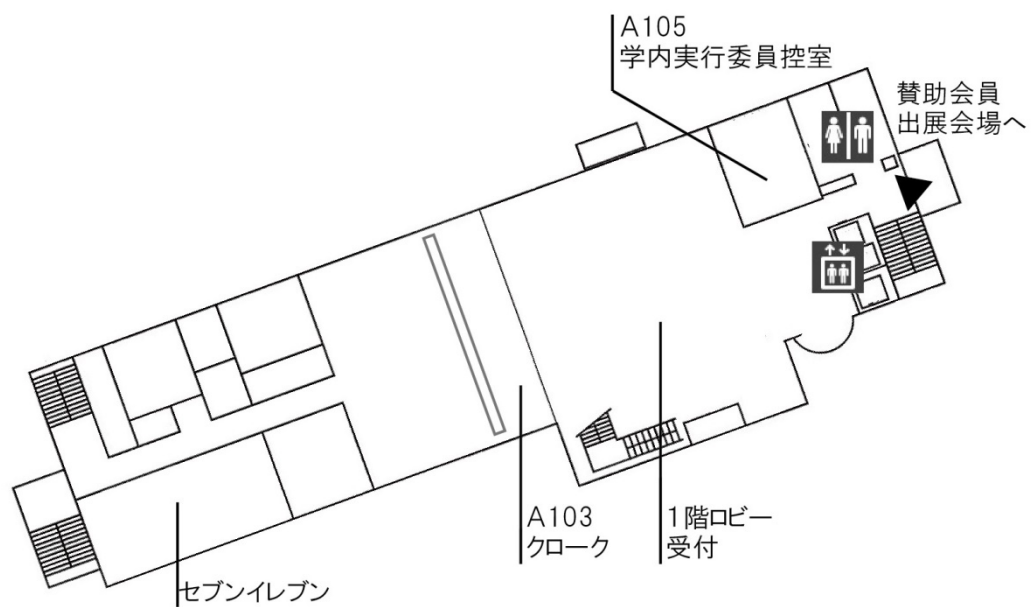
四国大学前（バス停）～ キャンパス 案内図



※四国大学前（バス停）から四国大学東門まで徒歩約 3 分です。

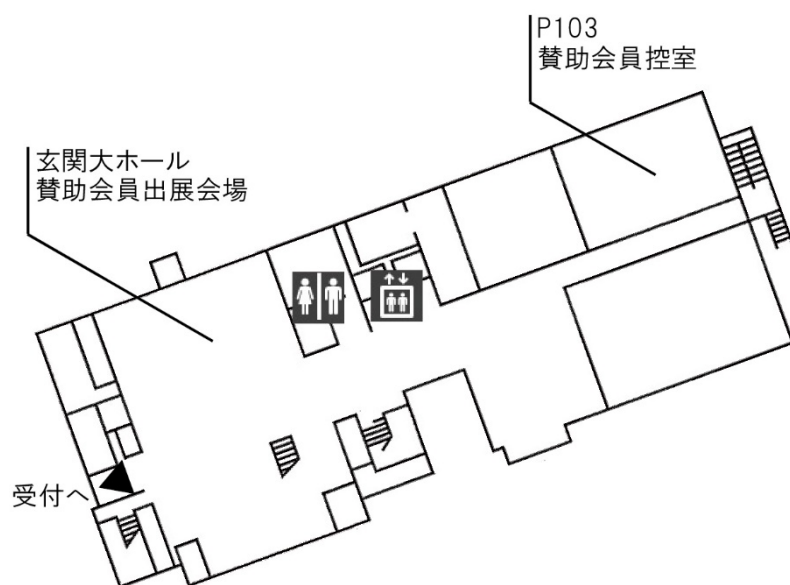
建物案内図（受付・クローク）

A 館 1 階 平面図

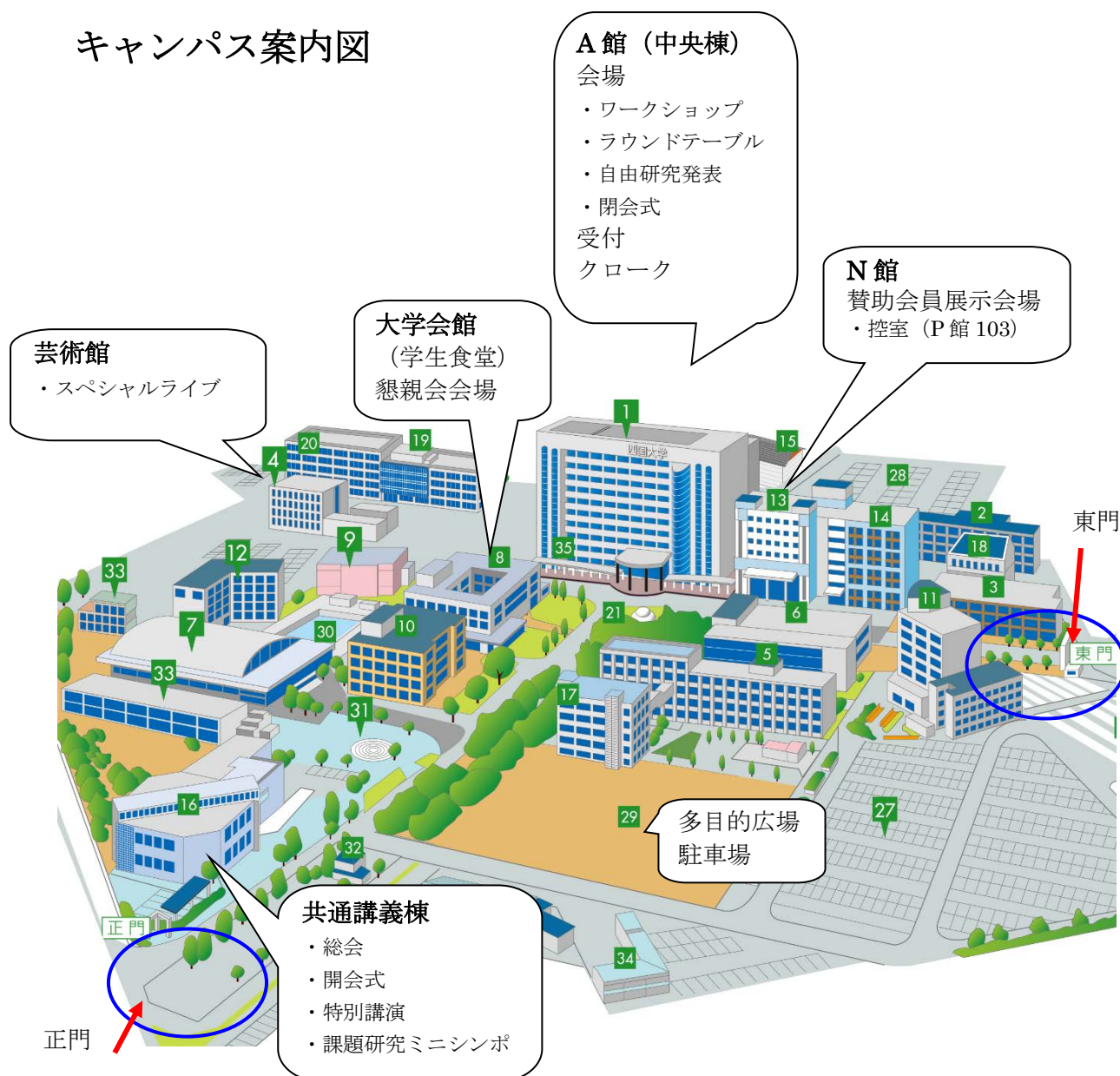


建物案内図（賛助会員出展・控室）

N・P 館 1 階 平面図



キャンパス案内図

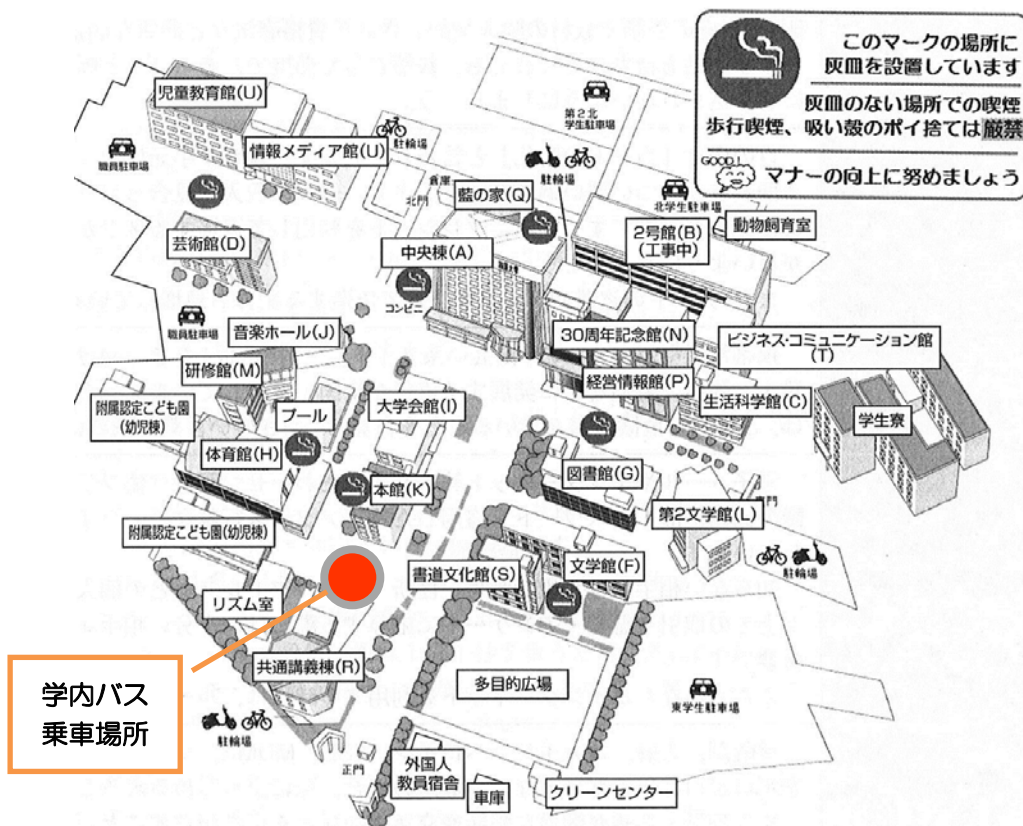


- 1 中央棟 (A 館)
- 2 二号館 (B 館)
- 3 生活科学館 (C 館)
- 4 芸術館 (D 館)
- 5 文学館 (F 館)
- 6 附属図書館 (G 館)
- 7 体育館 (H 館)
- 8 大学会館 (I 館)
- 9 音楽ホール (J 館)
- 10 本館 (K 館)
- 11 国際文化館 (L 館)
- 12 研修館 (M 館)

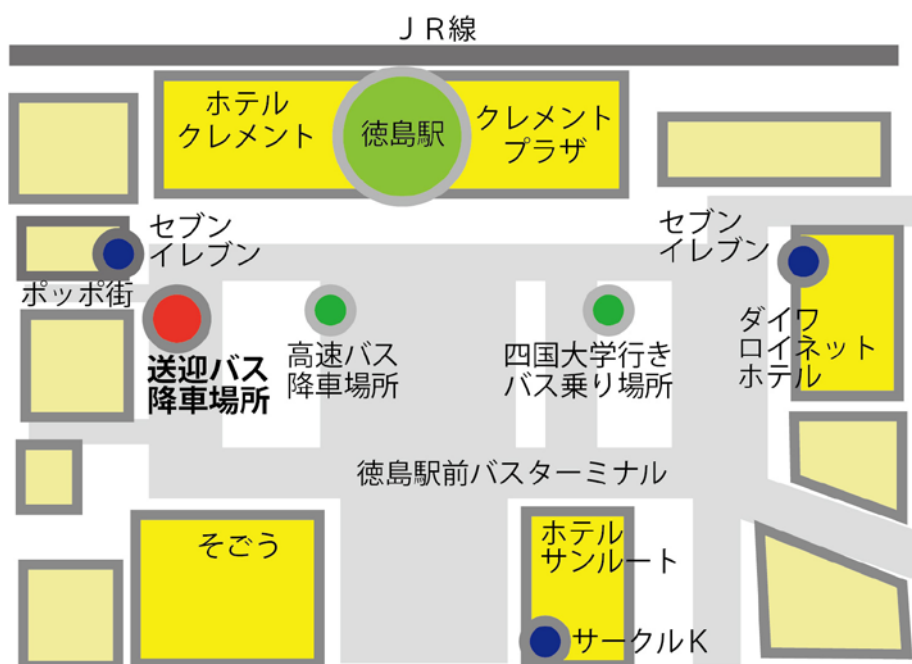
- 13 30 周年記念館 (N 館)
- 14 経営情報館 (P 館)
- 15 藍の家 (Q 館)
- 16 共通講義棟 (R 館)
- 17 書道文化館 (S 館)
- 18 ビジネス・コミュニケーション館 (T 館)
- 19 情報メディア館 (U 館)
- 20 児童教育館 (U 館)
- 21 卒啄 (そったく)
- 22 第1 学生寮
- 23 第2 学生寮

- 24 第3 学生寮
- 25 国際寮 (建設中)
- 26 東駐輪場
- 27 東学生駐車場
- 28 北学生駐車場
- 29 多目的広場
- 30 プール
- 31 スクールバス発着場
- 32 外国人宿舎
- 33 附属認定こども園
- 34 クリーンセンター
- 35 セブンイレブン四国大学店

バス乗車場所・喫煙場所（学内）



懇親会送迎バス降車場所・徳島駅周辺



※懇親会場から JR 徳島駅まではバスにて送迎します。
(19 時 30 分、20 時、20 時 30 分)

実行委員会メンバー

【実行委員長】 谷川 裕稔（四国大学短期大学部）

【実行委員（学外）】 沖 清豪（早稲田大学）

笹金 光徳（高千穂大学）

濱名 篤（関西国際大学）

藤本 元啓（崇城大学）

山田 礼子（同志社大学）

【実行委員（学内）】 赤松 茂樹（教育支援課長）

奥村 英樹（生活科学部教授）

加藤 孝士（生活科学部講師）

川内 由子（短期大学部教授）

長沼 次郎（経営情報学部教授）

西堀 尚良（短期大学部教授）